

| NO. 3 | 議席番号 | 氏 名 | 質問事項・要旨及び答弁者 |
|---|------|--------|--------------|
| | 2 | 新井田 昭男 | |
| <p>1. 人口減少における行政サービスや公共施設のあり方について</p> <p>北海道新幹線事業着手から11年目を迎え、来年3月の新幹線開業を目指し駅前を主体としたインフラ整備工事が急ピッチで進んでいる中、去る6月2日に北海道知事の高橋はるみ氏や関係者の出席をいただき、駅前の特設会場にてカウントダウンボード除幕式が行われました。今後、新幹線開業に向け町内での様々な開業記念事業が開催されることになっております。行政サイドでは新幹線開業に向け町民とともに気運を高めようとする思いは感じますが、町民の皆さんとの温度差を感じているところです。</p> <p>行政サイドにおいては、新幹線開業に向けさらなるレベルアップを期待したいものです。</p> <p>さて、昨年12月19日に当議場を会場とし、木古内町議会議員研修会を開催しました。講師に北海道大学公共政策大学院 連携研究部特任教授 小磯 修二氏をお招きし、「地方が輝くために・・・人口減少の時代に向き合う・・・」をテーマに行政関係者、議会、そして町民の皆様も参加をし講演をいただきました。</p> <p>その中で、人口減の現実を重視し行政サービスの縮小などについて議論をはじめの必要性を指摘しています。また、道内では17年前から人口減が続いているとし、税収減などで公共施設の維持が困難になるため、我が町では町民1人当たりの公共施設面積を半減しないと収支の均衡が保てないとの試算を示し「行政サービスをどこまで縮小できるのか、何を優先するのか、議論を始める必要がある」との助言をいただいております。</p> <p>そこで、改めて次のことについてお尋ねいたします。</p> <p>①人口減に関することは、様々な観点、視点から議論されておりますが、我が町の今後を見据えたとき、歯止めをかける特効薬はありますか。無いとするならば行政サービスの縮小を視野に入れなければならないことは明白であり、町民に対する行政サービスをどこまでの縮小を考えていますか。また何を優先しますか。</p> <p>②我が町の今後を見据え、人口減に伴う公共施設のあり方を考えたとき、税収減などにより維持管理が困難であるとの見解を示していますが、公共施設の運用について行政側の考えはありますか。</p> <p>この2点について、町長の見解を伺います。</p> | | | 町長 |